



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

令和7年9月

うるわし通信

桜井市誕生70年(来年9月1日)に向けて

桜井市は、昭和31（1956）年磯城郡の桜井町・大福村・香久山村で市制を実施してから、今月1日に69年目を迎えることとなった。奈良市・大和高田市・大和郡山市（S29. 1. 1）・天理市（S29. 4. 1）・橿原市（S31. 2. 11）に次いで6番目の市として誕生した。

当時の人口は3万1363人で、初代の萩原市長は、5万人都市を目指すことを提起されていた。そしてその後、磯城郡の上之郷村・初瀬町・大三輪町を順次編入して、市域や人口を拡大し、昭和38（1963）年4月1日には、4万9650人になったと記されている。そして、**来年の9月1日に、桜井市が誕生して70年目の節目の年を迎えることとなる。**

「うるわしの桜井をつくる会」は、15年前の2010（平成22）年3月14日に結成され、その結成「宣言」ともいえる文章には、次の諸項目が記されている。



- 私たちは、桜井の現状に日頃から不安を持っている市民の集まりかもしれません。纏向遺跡に示された国のはじまりの由緒ある歴史のまちに暮らしながら、市民としての誇りと、心満ちた満足感に生きている人は何人いるのでしょうか？
- 行政サービスは低下し、人口は減り、地場産業も衰え、商店街はシャッター通りとなり、このままではこのまちの将来はどうなるのだろうか、閉塞感に満ちあふれている
- いま求められているのは、まちのあり方を市民一人ひとりが自分の問題としてとらえ、まちづくりに能動的にかかわっていく姿勢と、主体的に参加して行くこと。人々のつづやきを形に変え、それを実現する市民の組織が必要と考え、「うるわしの桜井をつくる会」の設立をおこなった。

現在の桜井市の人口は、7月末現在で5万3972人であるが、「国立社会保障・人口問題研究所」の推計では、今後人口減少が続き、2040年には4万294人、2045年には3万6749人と予想されている。一方、「桜井市第6次総合計画」（令和12年まで）では、2040年で5万80人そして2045年で4万8785人と試算しているが、それは、積極的に人口増を伴う施策を実施した上での想定数値であり、地方においては今後20年で、国の機関が想定する予想より人口減少（自然減と社会減の両面）が加速していくと危惧されている。この点について、各方面からその具体的対応を求める意見や提言が出されている。

人口減少は日本のほとんどの地域で起こっているが、桜井市の場合は高齢化率が非常に高く、少子化が急速に進んでおり、15年前の本会結成時の現状認識（上記）より深刻化しているのではないかと。

この事態を招いている一因として、本会としての活動が十分に展開出来ていないこともあると反省すると共に、原点に帰った取組みを進め、地域の活力・魅力発信のネットワークを強めていきたい。

今後、この「通信」等を通じて桜井市の70年の歩みをシリーズで取上げると共に、今何ができるか、市民のつづやきや声を集約し、提起・実現していく決意である。

【通信 編集部】

皆さんの意見や思いをお寄せください

1面で紹介したように、来年9月1日に桜井市は、誕生70周年を迎えます。

今、桜井市第6次総合計画の後期期間（令和8～12年）の具体策や、市の人口ビジョンの見直しなども進められています。そこで、あなたが桜井市について、「あなたの桜井の過去・現在・未来についての思い」や、「桜井市誕生70年を迎えるにあたっての意見や提言」「今後の桜井で実現したいこと」などを、お寄せください。

対象者：市内外在住年齢不問（匿名可）

募集期間：令和7年9月1日から令和7年10月31日（金曜日）迄

応募方法：下記へEメールまたは郵送かFAXで送付ください。（1,000文字以内）

連絡先：うるわしの桜井をつくる会事務局：〒6330091 桜井市桜井1259番地

FAX：0744-43-7773 E-mail：lets@some.jp

＊提供頂く写真は、スマホ等でのコピー（JPEG）データでお願いします。

- ①桜井市誕生70年を迎えるにあたっての桜井の過去・現在・未来についての思いなど
- ②桜井市誕生70年を迎えるにあたっての意見や提言等
- ③今後の桜井で実現したいこと

懐かしい桜井の風景



大鵬・柏戸両横綱 桜井市HP
＜昭和37年来訪＞



寺川での消防出初式 桜井市HP



くじらの解体実演
＜昭和57年本町通3丁目商店街＞



山の辺の道道標
＜昭和47年建立＞



箒能（かがりのう）「井筒」
＜平成21年上演＞



原木市場

猛暑と獣害被害と私達

2025年7月24日に北海道の北見市内で39.0℃の最高気温を記録し、8月5日には群馬県の伊勢崎市内で日本の過去最高となる最高気温41.8℃を記録しました。右表によると最高記録のベスト4が今年8月に塗り替えられています。

全国各地で熱中症を発症して病院に運ばれる患者が急増し、人命や健康だけでなく自然環境にも大きなダメージを与え農作物の生育を妨げ収穫量や品質の低下を引き起こしています。

今年は特にクマの出没や目撃情報が頻発しています。岩手県北上市では民家に侵入したクマに住人が襲われ死亡し、北海道福島町では新聞配達をしていた男性がヒグマに襲われ死亡するなど、住宅街でクマによる被害は拡大しています。猛暑で山に群生している桑の実などが腐り食べ物が少なくなり、一部の個体が入里近くまで食べ物を求める行動をとることが原因と考えられます。日本には主に2種類のクマが生息しており、ヒグマは北海道に、ツキノワグマは本州と四国の山地を生息地としています。

県内でもツキノワグマの目撃や被害が発生しており、5月19日に天理市内馬場町の国道25号線の天理トンネル北出口付近で道路を横切るように歩くツキノワグマが目撃され、7月15日には五條市大塔町在住の女性が、自宅敷地内でツキノワグマと遭遇し、顔面を負傷する怪我を負っています。市内の笠地区では昨秋の収穫時期に獣害被害を受け地元産のソバを提供する事が困難になって、「笠そば処」を一時休業する事となりました。

(11月頃に営業再開予定)

政府は鳥獣保護管理法の改正案を閣議決定し、人の日常生活圏に侵入し、緊急性を要する場合などは市町村の判断で銃を使用しクマに対処できるようになりました。(今までは県と警察の許可が必要)人命を守るには大切な措置ですが、動物を追い払うだけでなく山で生活できる環境を整備する事も人間の責務でしょう。

順位	都道府県	地点	観測値	
			℃	起日
1	群馬県	伊勢崎	41.8	2025年8月5日
2	静岡県	静岡	41.4	2025年8月6日
〃	埼玉県	鳩山	41.4	2025年8月5日
4	群馬県	桐生	41.2	2025年8月5日
5	静岡県	浜松	41.1	2020年8月17日

気象庁HPより



吉野川分水

今年の新米は猛暑と水不足で凶作が心肺されます。桜井市でも倉橋ため池や初瀬ダムが最低水位を更新しています。そこで38年前にできた吉野川分水について考えます。江戸時代の終わり頃に吉野川分水の計画が持ち上がり明治以降も、計画のたびに和歌山県側の反対にあい、たち消えになりました。その後長期にわたる奈良と和歌山の協議がまとまり、工事は昭和27（1952）年に始まり昭和62（1987）年まで行われました。この事業では、大和平野と紀伊平野の農業用水を補給するため、紀の川水系に大迫ダム・津風呂ダム・大滝ダム・十津川水系に猿谷ダムが建設されたほか、吉野川分水のためのさまざまな施設が造られました。



下淵頭首工



東西分水工



略図

大淀町の下淵頭首工で取水し、水路トンネルを通過して、御所市の東西分水工まで送り、東西に分岐させます。8月31日現在、激しい勢いで流れておりフル稼働しているようです。水はここから東西の「幹線水路」を通り、大和平野全体の田園を潤します（詳細は略図）分水された水の一部は生活用水としても利用されているほか、地域の防災や河川の水質改善などにも役立っています。

発案から300年を経てようやく実現された吉野川分水計画は、大和平野に数々の恩恵を与えており今年のような極端な水不足にも対応できているようです。まさに長年かけて渇水対策を継続した先人たちの努力に頭が下がる思いです。

編集後記

「国守りて山河なし」8月6日の原爆慰霊式典での広島県知事がおこなった平和へのメッセージは、今日の国内外の核抑止論への鋭い警鐘であった。そして「核兵器廃絶は決して遠くに見上げる北極星ではありません。被爆で崩壊した瓦礫に挟まれ身動きの取れなくなった被爆者が、暗闇の中、一筋の光に向かって一歩ずつ這い進み、最後は抜け出して生を掴んだように、実現しなければ死も意味し得る、現実的・具体的目標です。」と続く。来年に誕生70年を迎える桜井市の未来像として、5万人の小さな市であるが、キラリと光る「平和宣言都市」として英知で世界に繋がることを積極的にアピールする存在となるように歩みたい。（編集子 楠）

うるわし通信発行人
ひがし俊克
TEL:090-3652-8104